

サブ カテ ゴリー	項目 番号	項目 名	行動例/学習項目例 (概要)	行動例/学習項目例 (詳細)
社会の変化	1	メガトレンド・社会課題とデジタルによる解決	サステナビリティ: SDGs、持続可能な開発。経済: 交通渋滞、物流のキャパシティ。人口動態: 人口減少・高齢化。地球環境: 脱炭素社会、気候変動。水資源: 食糧需給。自然災害: 感染症対策。エネルギー: エネルギー供給の持続可能性。人材育成・教育: 教育格差、リカレント教育、リスクリング。労働市場: 仕事の需給や柔軟性に関する質的・量的变化。	
	2	日本と海外におけるDXの取組みの差	日本と海外におけるDXの取組みの差。	
顧客価値の変化	3	社会・産業の変化に関するキーワード	第4次産業革命。Society5.0で実現される社会。データ駆動型社会。	
	4	顧客・ユーザーの行動変動と変化への対応	購買行動の変化。変化に対応した広告手法: レコマンド、SEO、リストティング広告、インフルエンサー、OMO (Online Merges with Offline)、LBM (Location Based Marketing)。データ・デジタル技術を活用した顧客・ユーザー行動の分析事例。	
競争環境の変化	5	顧客・ユーザーを取り巻くデジタルサービス	eコマース、動画・音楽配信、タクシー配車アプリ、デリバリーサービス、電子書籍、インターネットバンキング。	
	6	デジタル技術の活用による競争環境変化の具体的な事例	出版業・書籍流通業における環境変化（電子媒体のシェア上昇、インターネットにおける情報入手）。古書・中古品売買市場における環境変化（CtoCプラットフォームの登場）、レンタビリティ・CDショップ市場における環境変化（動画配信・音楽配信サービスの登場）。旅行業（旅行代理店）における環境変化（個人が海外・国内に問わず宿泊先・ツアーとの予約が容易に行えるサービスの登場）。音楽配信サービスにおける環境変化（曲・アルバム単位での購入から定期制サービスへの変化）。	
社会におけるデータ	7	データの種類	取得方法による分類: 行動ログデータ、機械の操作ログデータ、実験データ、調査データ、生体データ、取得主体による分類: 1次データ、2次データ。データそのものの属性による分類: 構造化データ、非構造化データ（文字・画像・音声等）、メタデータ。	
	8	社会におけるデータ活用	ビッグデータとアナリテーション、オーブンデータ。	
データを読みむ・説明する	9	データの分析手法（基礎的な確率・統計の知識）	質的変数・量的変数。データの分布（ヒストグラム）と代表値（平均値・中央値・最頻値）。データのばらつき（分散・標準偏差・偏差値）。相関関係と因果関係。データの種類（名義尺度・順序尺度・間隔尺度・比率尺度）。	
	10	データを読みむ	データや事象の重複に気づく。条件をそなえた比較。誇張表現を見抜く。集計ミス・記載ミスの特定。	
データを扱う	11	データを説明する	データの可視化（棒グラフ・折線グラフ・散布図・ヒートマップなどの作成）。分析結果の言語化。	
	12	データの入力	機械判読可能なデータの作成・表記方法（参考: 総務省 機械判読可能なデータの表記法の統一ルール）。	
データベース	13	データの抽出・加工	データの抽出、データクレンジング（外れ値、異常値）、フィルタリング・ソート、結合、マッピング、サンプリング、集計・変換・演算。	
	14	データの出力	データのタブロードと保存、ファイル形式。	
データベース	15	データベースの構成要素	データベース管理システム、データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	16	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
モニタリングの手法	17	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	18	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	19	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	20	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	21	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	22	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	23	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	24	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	25	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	26	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	27	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	28	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	29	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	30	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
モニタリング	31	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	32	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	33	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	34	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	35	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	36	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	37	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	38	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	39	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	40	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	41	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	42	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	43	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	44	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	45	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	46	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	47	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	48	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	49	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	50	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	51	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	52	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	53	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	54	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	55	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	56	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	57	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	58	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	59	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	60	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	61	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	62	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	63	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	64	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	65	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	66	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	67	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	68	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	69	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	70	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	71	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	72	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	73	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	74	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	75	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	76	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	77	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	78	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	79	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	80	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	81	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	82	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	83	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	84	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	85	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	86	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	87	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	88	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	89	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	90	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	91	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	92	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	93	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	94	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	95	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	96	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	97	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	98	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	99	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	100	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	101	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	102	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	103	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	104	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	105	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	106	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	107	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	108	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	109	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	110	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	111	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	112	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	113	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	114	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	115	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	116	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	117	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	118	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	119	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	120	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	121	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	122	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	123	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	124	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	125	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	126	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	127	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか等）。分析結果に基づいた意思決定。	
	128	分析アプローチ設計	必要なデータの確保。分析対象の構造把握。業務分析手法。データ・分析手法・可視化の方法の設計。	
データベース	129	モニタリングの手法	モニタリングの手法。	
	130	AIの歴史	AIの定義。AIブームの変遷。過去のAIブームにおいて中心となった研究・技術（探索・推論等）。	
AI	131	AIを作るために必要な手法・技術	機械学習の具体的な手法: 教師あり学習、教師なし学習、強化学習等。深層学習の概要: ユニラルネットワーク、事前学習、ファインチューニング等。AIプログラミングの進む方	
	132	人間中心のAI社会原則	人間中心のAI社会原則 ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 等	
クラウド	133	AIの得意分野・限界	AI得意分野・限界	
	134	AIに関する最新の技術動向	生成AI等	
クラウド	135	クラウドの仕組み	オンラインミスとクラウドの違い、パブリッククラウドとプライベートクラウド。クラウドサービスにおけるセキュリティ対策。	
	136	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	SaaS (Software as a Service) 、IaaS (Infrastructure as a Service) 、PaaS (Platform as a Service)	
データベース	137	クラウドサービスの構成要素	クラウドに関する最新の技術動向。	
	138	クラウドに関する最新の技術動向	クラウドに関する最新の技術動向。	
データベース	139	ハードウェア・ソフトウェア	ハードウェア・ソフトウェアの構成要素: プロセッサ、メモリ、ストレージ、入出力機器。コンピュータ・入出力機器の種類: PC、サーバー、汎用機、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、スマートスピーカー、センサー、デジタルサイネージ、ドローン。	
	140	企業における開発・運用	ソフトウェアの構成要素: OS、ミドルウェア、アプリケーション、オープンソースソフトウェア。プログラミングの思考: アルゴリズムの基本的な考え方、プログラミングの三段階特徴。	
データベース	141	データベースの概要	データベースの構成要素: データベースの種類: リレーションナルデータベース、キーバリュー形式。データベースの構造: テーブル、レコード、フィールド。データベースの設計: データの正確化のための規則・データの信頼性の判断・明示（中身に誤りや漏りがないか、筆が十分にあるか、出所や更新日が明確か、組織のルールに基づいて取り扱っているデータか	

備考

- 注 1 訓練実施機関は、DXリテラシー標準を適宜参照しつつ、実施する職業訓練のカリキュラム等から学習得を目指すスキル項目を確認し、含まれるものに、チェック欄に「✓」を入れ提出すること。

2 訓練カリキュラムにスキル項目に関する訓練項目があれば、訓練実施機関の判断により学習項目を追加して差し支えないこと。